

**製品名: インテグリン  $\beta$ 3 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21364**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:87kD;Observed MW:100kD

**抗原情報**

遺伝子名	ITGB3 GP3A
別名	Integrin beta-3 (Platelet membrane glycoprotein IIIa) (GPIIIa) (CD antigen CD61)
遺伝子 ID	3690.0
SwissProt ID	P05106
免疫原	ヒトインテグリン $\beta$ 3 の組み換えタンパク質

**背景**

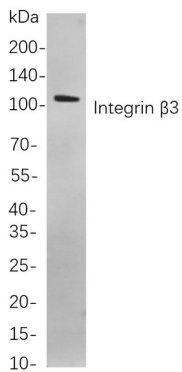
細胞局在: 膜。インテグリンサブユニット  $\beta$ 3 (ITGB3) ヒト ITGB3 タンパク質産物は、インテグリン  $\beta$ 鎖  $\beta$ 3 です。インテグリンは、 $\alpha$ 鎖と  $\beta$ 鎖からなる細胞表面タンパク質です。特定の鎖は複数のパートナーと結合し、異なるインテグリンを形成します。インテ

グリン β3 は、血小板において αIIb 鎖とともに存在します。インテグリンは、細胞接着だけでなく、細胞表面を介したシグナル伝達にも関与することが知られています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



マウス脾臓細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (インテグリン β3 ウサギ mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。